

おた
太田生涯学習報

はばたき

■発行／秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3
TEL0187-88-1119・FAX0187-88-2044

目次

表紙・・・太田のてらこ屋、学びい、親子陶芸教室、おはら節、生け花講座、IT教室

ふるさと太田の偉人を顕彰する会・・・2P

市芸術文化賞、大仙市誕生10周年記念 感謝状授与、野路短歌会・・・3P

花いっぱい運動表彰・・・4P

公民館講座・・・5P

スポーツプレイバック・・・6P

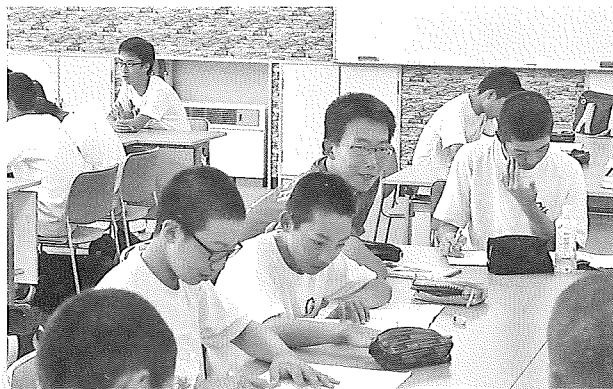
太田の大自然 こんなこともしています・・・7P

我が学び舎 この一年・・・8～9P

チャレンジデーin大仙・・・10P



学びい 番外編
農業振興情報センターでねぎの皮むき体験。



太田のてらこ屋
学芸大高校野球部部員に勉強を教えてくださいました。



おはら節全国大会
今年9月5日に第20回の記念大会が開催されます。
ぜひご来場ください。



親子陶芸教室
秋まつりで形を作り、2回目目で色付けをしました。



IT教室 word、エクセルの使い方を学びました。



生け花講座 お正月の花を活けました。

ふるさと太田の偉人を顕彰する会 設立経緯

- 平成26年 6月30日 仮称「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」準備委員会及び座談会の開催
- 平成26年 7月9日 仮称「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」準備委員会の開催
- 平成26年 7月16日 「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」準備委員会として会員の募集を開始
- 平成26年 7月31日 「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」設立総会を太田公民館にて開催し、会長に後藤光三氏、副会長に草薨均氏を選出太田地域の偉人である「鈴木空如」と「倉田政嗣」の顕彰活動を行うこととなった



ふるさと太田の偉人を 顕彰する会

会長 後藤光三

昨年7月31日。太田地域の偉人たちの遺徳と業績を顕彰し、地域の誇りとして末永く後世に伝え、文化の発展に寄与することを目的に多くの方々の賛同を得て「ふるさと太田の偉人を顕彰する会」が誕生しました。

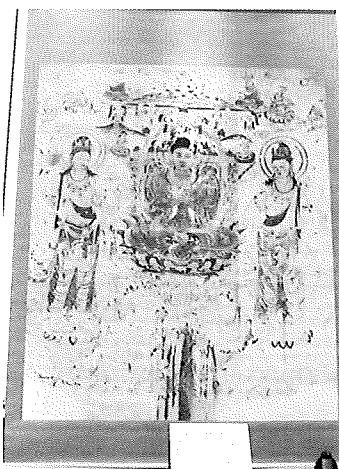
鈴木空如の遺作はこの度全国デビューしました。①NHK Eテレ日曜美術館「祈りの仏画 鈴木空如と法隆寺金堂壁画」の放映（5月18日）。②仙台市博物館の「特別展・法隆寺祈りとかたち」（3月1日〜4月13日）。③太田文化プラザでの「画聖空如・祈りとかたち展」法隆寺金堂壁画模写に生涯をささげた素顔を探る。④藤原成子氏の「空如物語」（7月21日）法隆寺金堂の壁画模写にささげた生涯の発刊等々は、まさに故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る。良い機会だったと思います。

一方「秀麗無比なる鳥海山よ」で始まる秋田県民歌を作詞した倉田政嗣も再デビューしました。①石井敏作曲の合唱とブラスのための楽曲「大いなる秋田」の第三楽章躍進であります。②秋田県民歌は平成2年（秋田県民歌制定60周年記念）この偉業と名曲を歌い継ごうと有志の浄財で歌碑が建立されました。③平成

24年には「倉田政嗣没80年を偲び、功績を讃える集い」を盛大に行いました。④昨年9月24日の「秋田県民歌を歌おう！倉田政嗣生誕120周年記念コンサート」が行われ、国文祭のイベントでも数多く歌われました。

こうした顕彰的行事は住民に「誇りと自信」を与えてくれるものと信じています。私どもの顕彰会は微力ではありますが、故きを温めて新しきを知る。を大切に積極的に取り組む覚悟であります。趣旨をお汲み取り頂きご協力くださることをお願いして設立のあいさつと致します。

（連絡先TEL 0187-1881119 太田公民館）
入会を歓迎しています。



鈴木空如展



倉田政嗣生誕120周年記念コンサート
フィナーレでの県民歌斉唱

市芸術文化賞受賞！ 後藤光三さん(おおた陶芸同好会代表)



第9回大仙市芸術文化賞の表彰式並びに祝賀会が平成27年2月13日、グランドパレス川端で行われ、功労賞8個人・奨励賞1個人が受賞。太田地域からは、後藤光三さんが受賞されました。

後藤光三さんは、平成13年「おおた陶芸同好会」設立に尽力、平成17年からは同会会長に就任。活発な同好会活動が続けながら、自己の研鑽にも励み各種作品展に出品、入選するなど精力的に創作活動を続けています。

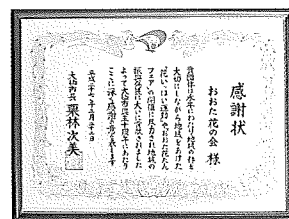
また、公民館主催「やきもの講座」、秋まつり事業「親子陶芸教室」等の講師を務め、物を創造する楽しさや魅力を伝えながら、後進の指導と育成に当たっています。

このように、地域の芸術文化振興に大きく貢献した功績が認められ今回の受賞となりました。

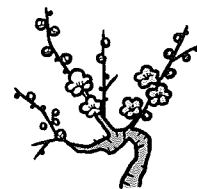
大仙市誕生10周年記念 感謝状授与「おおた花の会」(会長 小松國男)

平成27年3月22日、大仙市誕生10周年記念式典が大仙市大曲市民会館で行われ、功績者表彰に9個人・団体、市民賞贈呈に2名、市民特別賞に5個人・団体、感謝状贈呈に16個人・団体が受賞。太田地域からは、「おおた花の会」に、感謝状が贈呈されました。

「おおた花の会」は、平成9年の設立から花いっぱい運動に取り組み、花だんコンクールや花だんフェア、水仙ロードの拡張などの活動を積極的に行っており、その功績が認められ今回の受賞になりました。



路会 野歌 詠草より



年かさね任せることが常となり妻の意見がいつも先立つ
軒先のつららはおよそ三十センチ冬陽を受けて珠玉ののれん
玄関の扉を引くとこのわれに微笑みかける壺の活け花
雪国に住みつく宿命と思へどもド力雪を見てまた愚痴りたり
勝負色？赤系ネクタイ結う多き国会議員テレビに映ゆる
ひとつかみ内と外とに豆をまくほんの少しのしあわせでいい
どぶろくを自由に作れる喜びに熨は村の杜氏となりぬ
ありがとうを二度くり返すこの夕べお風呂がわきましたの音声ガイド
人生を振り返るにはまだ早い辛苦半ばの旅の途中ぞ
日の差せばあたり一変よみがえりブルーの空に大地かがやく
ネクタイをせぬ身になりて二十五年その淋しきは首だけでなし
前期にて合格決まりし中三の孫の笑顔に癒やされており
嬰詰に入れられたまま身動きのできざるやうな街のいちにち
夕影に清しく映ゆる白銀の奥羽連山歌会の帰路に
年の瀬に老人クラブ集い来て氏神敬い注連縄を綯う
大台のスキー場の照明の輝き見つっ心わらぐ
吾らには何も告げずに娘は一人兄嫁の手術に急ぎ発ちしと
暖かき今日の日差しを懐に入れて小出しにしたき寒最中

浅利 繁雄
大信田則子
加藤 年子
草薨 ミヨ
小松 キヨ
小松 関子
進藤美津子
鈴木 アイ
鈴木 農夫
鈴木 貞子
鈴木 誠
高橋千恵子
高橋 岑夫
千葉 美恵
戸澤 巽
藤原 サチ
藤原ハル子
藤原八重子

花いっぱい



第50回全県花だんコンクールの現地審査が9月17日に行われ、表彰式が10月29日に秋田市の遊学舎で行われました。

太田中学校が花壇の内容とこれまでの実績を評価され、記念すべき第50回記念特別賞を受賞しました。表彰式では、太田中学校の事例発表として長年にわたる花壇作りを通じた学校の取り組みや地域住民との連携、最近の活動内容などがスライドとともに紹介され、会場の皆さんは発表にうなづいたり、スクリーンに見

入るなどして喜んでいました。

また、太田地域花いっぱいコンクールの現地審査が8月26日に行われました。表彰式は平成27年度おた花の会総会に併せて行います。

次の方々が上位入賞されています。(敬称略)

全県花だんコンクール

- 〈特別優秀賞〉太田中学校 (第50回記念特別賞)
- おおたわんぱくランドのびのび園 (秋田県教育長賞)
- 小神成花の会 (毎日新聞社秋田支局長賞)
- 駒場新生会 (秋田魁新報社賞)
- 後藤圭子 (秋田県花いっぱい運動の会会長賞)

- 〈モデル花だん〉駒場新生会・高貝ヨシエ
- 〈花いっぱい運動功労者表彰〉高橋千恵子

太田地域花いっぱいコンクール

【家庭の部】

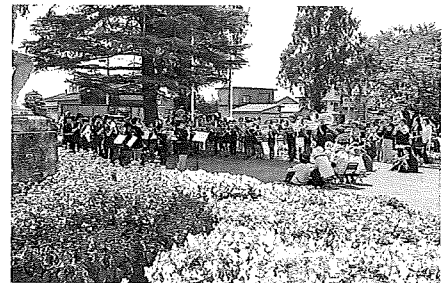
- 〈優秀グランプリ賞〉後藤圭子
- 〈特別優秀賞〉佐々木英子・野中シゲ子・高貝ヨシエ・大信田祐子・藤原サチ・佐々木笑子・伊藤ヤエ子・黒田正明・高橋志孝・高橋武男・高橋千恵子・長澤猛

【団体の部】

- 〈優秀グランプリ賞〉太田中学校
- 〈特別優秀賞〉おおたわんぱくランドのびのび園・田ノ尻集落花だん・太田東小学校・太田南小学校・太田北小学校・北小神成集落会・南小神成花の会・駒場新生会・小曾野道路花壇・大仙市太田地域老人クラブ連合会・荒屋敷花だん



《全県花だんコンクール表彰式》



《花だんフェアの賛助演奏風景》



《太田中学校》



《全県花だんコンクール現地審査》



《後藤圭子》



27年の
文化講演会
のお知らせ

H27

4/19

(日)

文化講演会

時間＝午後2時30分～／場所＝太田公民館

演題：「秋田なまりの笑える昔語り」

講師：語り部 藤原 まり氏

暮らし いさいま 公民館講座

太田ふるさと講座

今年度より、新たに「太田ふるさとシリーズ」として学習講座・教室をリニューアルして、新たに【ベジフル教室】と【三世代前のお食事講座】を開催しました。

ベジフル教室は、地元の旬の野菜や果物の基礎知識を学ぶ教室で、ミニ料理教室も行われ、おいしい食材の見分け方や効果的な栄養の取り方などを教えてもらいました。

三世代前のお食事講座は、太田地域に伝わる伝統料理やこの土地で採れた旬の食材で季節の料理を楽しみ後世に伝える講座で、昔ながらの料理について、参加者の皆さんが思い出話を楽しみながら教えてもらいました。

【ベジフル教室】

トマト・ブルーベリー・
なす・里芋・南瓜・大根



【三世代前のお食事講座】

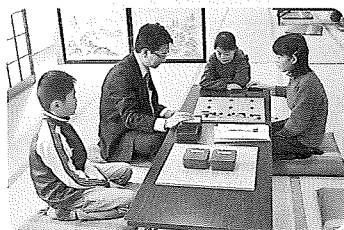
赤まんま・キュウリの
冷汁・だまこ鍋・粉ざ
きねり・南瓜のいとこ
煮・納豆汁・甘酒・大根
のなた漬け



編み物講座



料理講座



囲碁講座



やきもの講座



押し花講座



パッチワーク講座

講座

今年の講座は、4月の囲碁教室から始まり、7月には焼き物講座、冬季短期講座としてパッチワーク・料理・生け花・押し花・編み物・ITと8つの講座を開催し、たくさんの方々から参加していただきました。

昨年度から始まった囲碁教室では、国民文化祭で囲碁大会が大仙市で開催されたこともあり、小学生や太田地域以外からの参加者も多くありました。

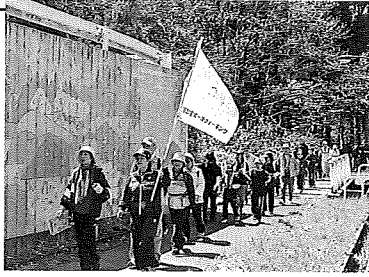
公民館ではこれからも楽しみながら自発的に学べる学習機会を提供することにより皆さんの生涯学習のお手伝いをしてまいります。



スポーツプレイバック

てくてくウォーキング

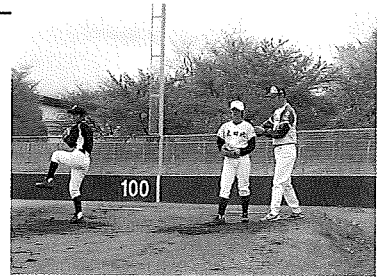
5月11日
奥羽山荘～
大台スキー場
展望台



大仙市スポーツ推進委員認定コースで実施されました。昨年から始まった「黄桜まつり」にあわせて実施され、参加者は心地よい疲れを感じながら大台スキー場展望台から見える下界の風景とにぎわう黄桜まつりを楽しんで頂きました。

少年少女野球教室inおおた

5月10日
太田球場



長年続いているこの野球教室。地域の野球愛好者などの支援によって実施しています。

秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会

8月30日
31日
(日本一のグラウンド・ゴルフ場)



今年は全国から594人の兵が集まり行われた南部忠平杯。沖縄宮古島大会出場権は伊藤知一(山形県)さんが獲得。今年はあなたも参加してみては？

チャレンジデー2014

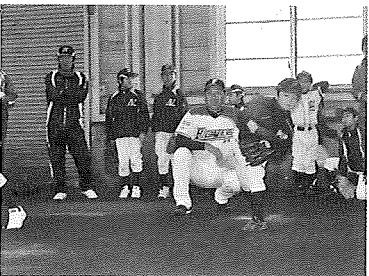
5月28日



世界一斉に実施するスポーツイベント「チャレンジデー」に今年も参戦。大仙市として2度目の参加。結果は…(大仙市内では太田が参加率59.7%でもちろんトップ!)今年の5月27日は友好交流都市の神奈川県座間市との対戦です。

冬季少年少女野球教室

12月20日
交流プラザ



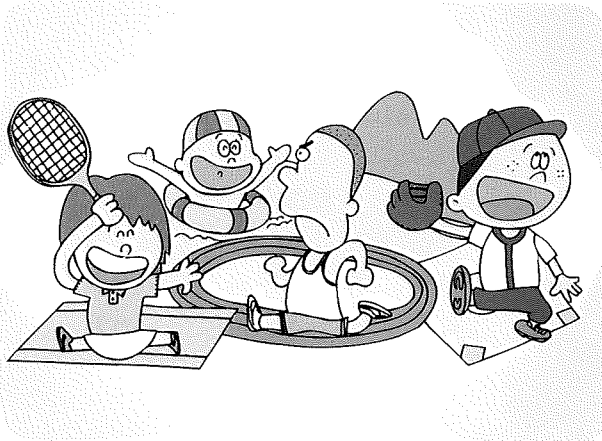
日本ハムファイターズファーム総合コーチの伊藤剛さんを講師に迎え開催。日ハム選手時代から通算で12回目の野球教室も充実したものになりました。地元からの甲子園出場を果たし、太田からプロ野球選手が誕生するのも近いかもしれません。

奥羽太田ロードレース大会

10月11日
奥羽山荘周辺特設コース(日本陸連公認)



今年で16回目の恒例の大会。県内外から353名がエントリー。秋晴れのもと爽やかな汗を流しました。走り終えた後は地元野菜をふんだんに使った給食センター提供の「豚汁」で舌鼓。



東北マスターズスキー大台大会

2月21日
22日
大台スキー場

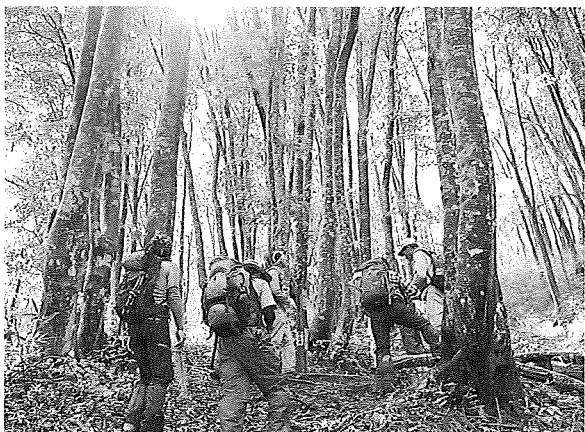


東北各地を転戦し年間王者を決めるこの大会。大台大会の最高齢者はなんと86才のおじいちゃん。クラウチングスタイルで颯爽と滑っていました。

太田の大自然 こんなこともしています

ナチュラルガーデン講座 (4月～10月)

あか松庵離れ「もみじ庵」に面する庭を使い、太田の自然に合った庭造りを実地体験で学ぶガーデニング講座を実施しています。四季を通じて楽しめる自然のコントラスト。よくある”花壇”とは違った植物本来の美しさを求めています。



山登り教室 (11月～10月)



「登山を始めたいけど何からはじめたらいいかわからない」といった初心者や、登山の基礎を身に付けたい方を対象とした山登り教室を実施しています。11月から4月は公民館で座学による勉強会での山に対する知識を高め、5月からは山登りを実践するこの教室。20代から70代の老若男女が参加しています。

今年はまだ募集を締め切っているの、参加したい方は10月頃の広報を要チェック！！

大台スキー場に 新しい無料休憩所を新築

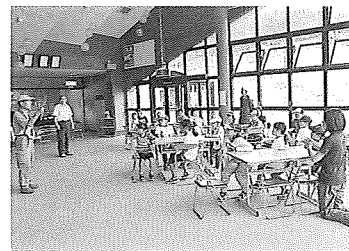
昨年11月に大台スキー場ロッジの隣に新しく無料休憩所を新築しました。冬場の利用はもちろん、夏場の自然体験などでも利用することが出来ます。利用したい場合は大台スキー場ビジターハウス (TEL.89-1788) にお問い合わせ下さい。



～大台山での森林学習活動～



大台山まるごと体験教室



エコキャンプ体験



メープルサップ採取体験



なめこ植菌体験

この一年

行事から

太田中学校

今年「繋がる」がキーワードの一年となりました。全県少年野球や総体激励会の応援では、全校生徒の繋がりがありません。花づくりでは県花いっぱい運動の会より第50回記念特別賞をいただき、太中の花壇の伝統、歴史の繋がりの重さを実感しました。

また、0歳児から15歳までの15年間の成長を繋げようと「太田家庭教育5か条」を作成し、幼保・小・中の繋がりを形にしました。さらに、「太田型家庭学習の手引き（児童生徒版、保護者版）」をつくり、9年間の学びを繋げようと試み始めています。

こうした地域の中での繋がりに加え、糸満市の中学生の学校訪問もありました。もちろん、大植町との繋がりは、今年も続けることができました。1年生は語り部ガイドさんから、被災地に暮らす人の思いを学び、2年生は地域の力を借りてプランターを大植中の仮設校舎に届けました。3年生は太鼓の演奏で大植中の文化祭をPRしました。

このように、太田中にはたくさんの繋がりがありません。中でも地域との繋がりを目に見えるものにと考え、『太田中学校応援隊』を立ち上げました。『太中応援隊』が地域と学校を繋げ、学校が太田を元気にする何かしらのお手伝いができたらと考えています。



「よし、応援するぞ!」という方は、是非入会していただければ幸いです。詳しくは、太田中学校までお問い合わせください。

太田南小学校

成果をかみしめ さらに前へ!

本校は、「連携・協働」をキーワードに、地域社会に開かれた「コラボ・スクール」づくりを推進し、子どもたちの夢や挑戦心、高い志を育てています。

コラボには、幼稚園、小・中学校、高校、大学との「縦のコラボ」と、家庭・地域・関係機関等などとの「横のコラボ」とがあります。

「縦のコラボ」では、太田中の被災地交流と連動した活動や秋大での理科実験授業、太田分校との農園活動などを行っています。今年度は、小・中9年間を見通した「太田型家庭学習の手引き」も発行しました。

「横のコラボ」では、30年以上も続く「花壇づくり」や「資源回収」はもちろん、地域の力を授業に取り込む様々な工夫を行っています。その企画・運営の中心になるのは、コラボ・スクール推進委員の皆さんです。本校の心強い応援団です。

今年度、このコラボ・スクールづくりの取組が認められ、本校は「優れた地域による学校支援活動に係る文部科学大臣表彰」をいただきました。

本校は、この成果を噛みしめ、地域とともにある学校づくりを、さらに前へ進めます。



県立大曲農業高等学校 太田分校

「民謡と太鼓の共演」というキャッチフレーズのもと、太田分校の全校民謡発表会を、11月8日、太田文化プラザを会場に開催することができました。第5回を数えるこの発表会に当日は200名を超える地域の方々をお迎えして、4月からの生徒たちの練習の成果を残さず表現したつもりです。

全校生徒の民謡はもちろんのこと、今年度も大活躍の郷土芸能部の演奏、全校民謡指導者の模範演奏に加え、生徒有志による東今泉八幡太鼓の演奏と、例年以上の演目に観客の皆様から盛大な拍手をいただき、生徒・職員一同、大きな感動を得ることができました。「すばらしい演奏でした。」「来年も必ず見に来ます。」「たくさんのお褒めの言葉に、今後も地域とともに成長する太田分校を築いていくという強い意志で努力していきたいと考えております。

地域との交流・連携を深める意味でも大きな学校行事である全校民謡発表会……来年度の新たな展開（計画進行中）に御期待ください。



太田東小学校

学校創立140周年。祝うべきこの年、学校行事に「創立140周年記念」の冠をつけて、様々なイベントが行われました。中でも、心に残った思い出の写真があります。これは、9月に行われた「学習発表会」のワンシーンです。子どもたちの真ん中でギターを手に歌っているのは、太田の夏祭りにも出演した本校出身のシンガーソングライター仲野谷仁さんです。現在は、宮城県仙台市を活動の拠点とし、ギター弾き語りによるソロ活動や「自由」なかのや&みい楽団」としての活動を行い、イベントやラジオなどにも出演している方です。発表会当日は、同級生たちと東小在学中の思い出を語ったり、全校児童と一緒に歌を歌ったり、楽しい時間をもつことができました。子どもたちとの楽しい時間を計画してくだ



さったお礼にと、間もなく卒業するスマイル学年の皆さんに、「スマイル〜ぼくらのたからもの〜」という歌をプレゼントしてくれました。



我が学び舎

～印象に残る～

おおたわんぱくランド“すくすく園”

今年度からおた保育園は「認定こども園おおたわんぱくランド すくすく園」となり、0～2歳児だけの園となりました。園児が全員低年齢になったことで、職員一同環境の見直しに取り組み、少しでも子ども達が安全でそして快適に生活できるような環境作りに努めてきました。

行事についても0～2歳では運動会を持つことが出来ず、保護者から淋しいと言う声が聞かれたため、職員で検討を重ね発表会は行うことになりました。保護者の方々からは我が子が上手に踊れなくても、ステージに立っただけで喜んでいただけました。また、劇や合奏がなくなり発表の時間が短くなったため、後半にスタンプラリーを付け足したことで、親子で一緒に体を動かして楽しんでもらうことも出来ました。

来年度も再度環境を見直し、子ども達が小さいから出来ないではなく、どうすれば無理なく楽しく出来るかを模索しながら、行事等に取り組んでいきたいと思ひます。

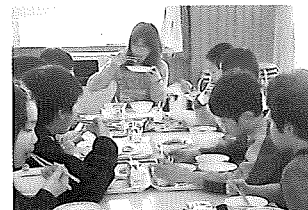


太田北小学校

「共に伸びる ～ひとりのかがやき みんなのかがやき～」これは、太田北小学校の学校教育目標です。授業はもちろん学校生活のあらゆる場面で、一人一人を大切に互いの関わりを通して、学校教育目標「共に伸びる」姿を求めています。

4月早々、「全校縦割り班」が編制されます。全校児童と一緒に給食を食べる食堂方式を取り入れているからです。準備や後片付けを通して、上の子が下の子の面倒を見たり教えたりすることはもちろん、一人一人がきちんと自分の役割を果たすことの大切さを自然に覚えていきます。こんな日常活動の中にも「共に伸びる」姿を見出すことができます。

運動会の応援合戦や児童集会にも、少人数校ならではの濃密な縦割り活動が展開します。応援の写真は、本校職員が撮影した県展入選の作品です。



「ひとりのかがやき みんなのかがやき」に通じる国見つ子らしい明るさが満ちています。そして、本校の大きな特色である「全校音楽劇」公演の日は、長期間の活動過程を経て、全校児童一人一人が輝きみんなが輝いて「共に伸びる」姿をはっきりと表出する瞬間です。また、今年度は「ふれあいほっとルーム虹」の外国語活動や「菜の花タイム」の福祉学習を新たに付け加え、更に多くの方々へ「共に伸びる」を支援していただいた一年でした。

おおたわんぱくランド“のびのび園”

平成26年度から、旧太田みなみ幼稚園・旧太田ひがし幼稚園・おおた保育園が統合し、太田地域全体の園として“認定こども園おおたわんぱくランド”がスタートしました。

3～5歳児が過ごす“のびのび園”では、太田の豊かな自然を生かし地域や保護者の方々の協力をいただきながら、今年度も様々な活動や行事を行いました。畑作りや野菜・花の苗植え、バケツ稲や太田分校での田植え、横沢公園やモリボの里への園外保育、太田の秋まつり参加、3小学校合同の焼き芋会、餅つき会、太田の火まつりで揚げる紙風船作り等たくさん楽しい思い出ができました。中でも、お家の人と一緒に植えた大豆を収穫し、それを使って“太田一杯の味噌汁プロジェクト”の方々のご協力で味噌作りを体験し、最後は自分達で収穫・脱穀したお米を炊いて、自分で「味噌たんぼ」や「味噌おにぎり」にして食べた経験は、子どもたちの心に鮮明に残っているようです。世界にひとつしかない最高においしくてうれしい味でした。

ようやく少しずつ軌道に乗り出してきた園生活ですが、27年度からは国の方針によりまた新たな制度に移行します。時代や環境は目まぐるしく変化し続けていますが、ずっと変わらないのは純真な子どもたちの笑顔です。太田の宝である子どもたちが、保護者や地域の皆様の温かい見守りやご協力・ご理解をいただきながら、「すくすく・のびのび・太田っ子」として、よく遊び、心豊かにたくましく育つよう取り組んでいきたいと思ひます。



今年も体を動かしましょう

チャレンジデー in 太田

5月27日(水曜日)



今年度の対戦相手は…**神奈川県座間市**

まちとまちとがスポーツ（運動）を実施した住民の参加率を競うチャレンジデー。今年こそは、金メダルを目指しましょう。今年も「スポーツの力で日本を元気に！」をスローガンに、体を動かして、みんなで参加し、地域を元気にしましょう。

どんな運動でも構いません。

太田のパワーを全国に見せましょう。

自宅でも、職場でも、田んぼでも

自分の好きな場所で参加しましょう

編集後記

今年も活動した様子を満載した生涯学習報「はばたき」をお届けすることになりました。地域の皆さんには、ぜひとも一読くださるようお願いいたしますとともに、情報提供くださった関係各位に感謝申し上げます。

さて、太田の公民館内にある図書館には、先輩たちが足跡を刻んだ数少ない書物がたくさんあります。未来の太田の姿、ふるさと太田の姿をどのように描いたのか、描きかけたのか、残したかったのか、今の姿がその姿なのか。図書館にある書物を読むたびにそう思われます。先輩たちのように貴重な人材が続いてくれるのか、書物として書き記し残せる人材はいるのか、いや、まだまだこの太田には沢山います。まだ気づかないだけなのです。様々な考えを持ち、様々な人間が暮らすまち太田、卒業の季節、新しい目標に向かう季節、長い冬が明け、草木が芽吹く3月、4月は誰しも胸躍る季節であり、新しい旅立ちの季節

でもありません。関東で暮らす太田出身で作る「ふるさと太田会」があります。ふるさと太田を思う気持ちには、地元にいる私達よりも強くお持ちです。元気な活気あふれるまち太田、心をやすまち太田、どんな時も歓迎してくれるまち太田、そんな故郷に暮らす私達に期待を寄せています。

合併から11年を迎え、新しい幕が上がりました。この地で暮らす私達は今後どのように歩いていくのか、地域に暮らす皆さんそれぞれの思いを結集した心の豊かなまちにして、次の世代へバトンタッチをしましょう。元気な太田の姿をたくさんたくさん発信していきたいでしょう。

7年間公民館にはお世話になりました。いろんな形で地域のみなさんと一緒に楽しい行事に携わることができました。今後も楽しい、皆さんが集う活気ある公民館であり続けたいと願っておりますので、地域の皆さまの御指導をよろしくお願ひします。

平成27年3月31日

太田公民館長

安達成年